

行政監査の結果について

教材費等がここまで金額が大きいのであれば、徴収マニュアルや経理規定は作るべき。それも一律のものではなくて大筋のマニュアルを作り、各高等学校で応用できるよう、ある程度のゆとりがあるものを作って、運用をしていく。そして、PTA、学校教育、あるいは学校の教員、事務がすべきことなのかという色分けをすればいいのではないか。

最低限、資金の管理に対して通帳を作る等流れを明確化する。その上で、その出し入れについては費目ごとにやり、一年経ったらそれを報告する。それは最低限、やるべきではないか。ルール作りは、あとで付いてくるもの。

ここまで監査したことに、敬意を表す。この監査の結果が市町村教育委員会に及ぶとさらに良い。

学校の問題を学校に閉じ込めるのではなく、外に開いて外部の意見をよく聞いて改善すべき。

これからシステム作りをする中で、集中管理ができるような担当や部署を作って責任ある人たちで管理をしていくというシステムを検討してほしい。個人に管理・徴収が委任をされると、どうしても事故に繋がる可能性が高くなるので、できるだけ携わる人を少なくして、しっかりとしたシステムの中で管理運営してほしい。